

〔第169回明専塾（ルネサスエレクトロニクス株）〕

明専塾に参加して思うこと

電子H13 藤崎 敏朗



いとお誘いをいただき、今回の講演会参加という流れとなりました。まさに青天の霹靂です。

明専塾を迎えるまでの壁

実のところ、参加予定は2018年7月6日の第156回の予定でした。しかし、当日の九州北部豪雨の影響で、福岡空港到着後、交通機関が完全にマヒしており博多駅にて足止め状態。どうするかと悩んでいたところに、学生の安全を考慮して今回は中止という連絡をいただきました。その後、幸運なことに168回に参加させていただけるという連絡があり、再度仕切り直して準備を進めておりましたが、やはり明専塾の壁は高く、当初参加予定の4名のうち、2名が前日に参加できない事態が発生し、急遽2名体制で当日を迎えることとなりました。

明専塾で伝えたこと

企業の立場としては、会社のア

ピールをすべきはあるが、自身としては、現在の自分を育てていただいた母校に対して、自身のフィールドで起こっている世の中の技術トレンド、及びその中でどのように戦っていかなくてはならないかをOBとして伝えることが、一番の恩返しになると考え、資料を用意しました。私

九州工大のOBとして思うこと

が身を置いている半導体業界は大きな変化が起こっています。日本国内の半導体分野の会社再編、世界的に見ても、買収を通じた規模拡大が盛んに行われています。ダイナミックな変化が起こり、想定が難しい業界ではありますが、その中でも自分の専門分野で、どのように貢献しているのか？九州工大出身のエンジニアとして、どのように活躍できているのか？を中心に公演をさせていただきます。また、グローバル競争の激化を受けて、業務のフィールドが国内ではなく、海外との比較が進んでいる中で、こういった価値観が日本のエンジニアには求められてきているかの実例を通じてお伝え

しました。今回の講演を通じて、業界の状況を少しは知る機会となっていたら、幸いなところです。

冒頭に述べたように、自身はリクルータをしているので、毎年学生と接する機会があります。その都度質問するのが、九州工大出身としての強みは何ですか？です。いざ問われると、なかなか難しい問答ですが、意識していなくても、きっと何かが身についているものだと思います。それが九州工大の良さであり、強みだと自分自身は思っています。それを認知し、自信をもって自分の選んだフィールドで活躍してもらえらることで、その助けになることを今後も続けていけたらと考えています。

むすびに

今回、明専塾への貴重な参加機会を与えていただきました明専会、ならびに九州工大の関係各位に感謝いたします。今後の九州工大のますますの発展を祈念しております。

（ルネサスエレクトロニクス株）

今回、初めて明専塾に参加することができました。まず、参加の機会をいただきましたことを御礼申し上げます。2003年に九州工大を卒業後、入社2年目からリクルータとして15年間、年1回の大学訪問を行っていましたが、その都度、学科の就職掲示板に掲げられている明専塾の案内を見る度に、どうやったら参加できるのだろうか？とと思っていました。機会は、突然やってくるもので、2018年度の採用活動中に、就職担当教授との面談の中で、明専会に参加してみませんか？と